**令和４年度社会福祉法人しいの木会事業報告　　　資料②**

令和5年5月24日

しいの木会

**◆法人事業**

　令和４年度は、感染状況は多少落ち着いてきたものの、やはりコロナの影響を受けた１年となった。活動も制限をしてきたが、コロナ感染状況を考慮しながら、日帰り旅行や行事は実施することができた。コロナ感染症クラスターの発生はなく、休業には至らなかったが、今後も、感染予防や発生した場合の対応等については留意していく。

就労継続支援B型は、令和3年度末でプチ・シーモックを閉鎖し、シーモックに集約し事業を行った。利用者個々の特性に合わせ、スイーツワーク（菓子製造・袋詰め他）、ベジワーク（畑作業他）、ピースワーク（主に受注作業及び製作活動他）と3グループに編成し、生産・創作活動と併せ、体力維持向上を目標にそれぞれの活動を通して取り組んだ。その結果、利用者個々人が活躍できる場面や体力面の向上を図ることができた。

年度途中で3名が他事業所（生活介護・就労継続支援B型）の利用希望があり退所した。その他、2名が体調不良、1名が家庭の都合のため年度末で退所した。

菓子の売り上げについては、イベントや販売機会が少しずつ増えてきたこと、注文販売やインターネット販売、シーモック店舗での売り上げ増により、大きな落ち込みはなかった。また、飲食店営業許可を受け、夏季の土曜営業日に「かき氷」の販売を行った。今後は、通常営業日にも提供を検討していきたい。

株式会社インソース様からいただいたご寄付を元手に、菓子製造機器を購入した。今後は、菓子を効率的に製造し、利用者の工賃向上にも取り組んでいきたい。

生活介護については、グループ名をエコワークとし活動してきた。令和5年2月から1名の新規利用者を受け入れた。

平均利用人数は前年度と比較し、就労継続支援B型は0.7名の減、生活介護は0.1名の増となったが、報酬単価が増えたことで福祉事業収入に大きな変化はなかった。

懸案事項となっている就労継続支援B型から生活介護への切り替えについては、衛生面や作業場面積等の問題があり、容易に変更はできない。新たな活動場所の確保を検討していく必要がある。

グループホームについては3月に1名の入居があり、年度末での入居者は１１名となっている。また、ホームどんぐりの老朽化に伴い、ベランダ・バルコニーの補修及び塗装工事を行った。令和3年度から短期入所事業（空床型）を開始し、通所利用者の緊急の受け入れ先として機能することや体験的利用など福祉サービスの充実が図れた。利用希望者も増えている。今後は、新規グループホームの開設に向け検討していきたい。

　　　　　　　　　　　　（役員会等の実施状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 種別 | 参加者 | 決議事項等 |
| 6月8日 | 理事会 | 理事6名/ 6名監事2名/ 2名会計責任者1名 | ・監事監査結果報告・令和3年度事業報告・就労支援事業の余剰金の使途について・令和3年度計算書類等および財産目録・補正予算・ホームどんぐり修繕について |
| 6月18日 | 評議員会 | 評議員8名/ 7名理事2名/2名会計責任者1名 | ・監事監査結果報告・令和3年度事業報告・令和3年度計算書類等および財産目録・令和4年度事業計画および資金収支予算　　　　　　　　　　　・補正予算・ホームどんぐり修繕について |
| 11月17日 | 理事会 | 理事6名/ 6名監事2名/ 2名会計責任者1名 | ・理事長の報告事項・菓子製造機械の購入について・補正予算 |
| 11月26日 | 評議員会 | 評議員8名/ 6名理事2名/ 2名会計責任者1名 | ・理事長の報告事項・菓子製造機械の購入について・補正予算 |
| 3月15日 | 理事会 | 理事6名/ 6名監事2名/ 2名会計責任者1名 | ・理事長の報告事項・補正予算・令和5年度事業計画・令和5年度当初予算・経理規程の改定・給与・退職金規程改定・役員退職金規程の制定・役員等報酬規程の改定・就業規則の改定 |
| 3月25日 | 評議員会 | 評議員名8名6名理事2名/2名会計責任者1名 | ・理事長の報告事項・補正予算・令和5年度事業計画・令和5年度当初予算・役員退職金規程の制定・役員等報酬規程の改定・規程類の改定について |

**◆シーモック事業**

就労継続支援B型については、利用者の特性に合わせたグループへの配属変　　　更や作業種について職員で話し合いを重ね活動を行った。

今年度もコロナの影響でイベント等が中止となり、販売や納品の機会は少なかったが、１年を通じ注文販売ができたことやインターネット販売、新たな販売先やシーモックでの売り上げが増えたことで、収入面で大きく落ち込むことはなか

った。また、作業の効率化を図るため、土曜営業日を利用し菓子製造を行った。

生活介護については、2月から１名の利用が開始した。

活動内容はリサイクル作業（ ペットボトル ）を中心に、創作活動、散歩や体

操など健康維持のための活動を行った。月1回のお楽しみ会では、季節に合っ

たメニューを提供するなど、利用者の楽しみ、励みとなった。

**各部署について**

1. 就労継続支援B型（定員３０名・利用者４４名）　　　※（　）は前年数

就労継続支援B型の年間の平均実利用人数は、1日当たり３３．３名（３４名）

1. スイーツワーク　　 （利用者１９名）
2. ピースワーク　　 　（利用者１６名）
3. ベジワーク　　　　 （利用者　９名）
4. 生活介護（定員７名・利用者９名）

生活介護の年間の平均実利用人数は、1日当たり６．６名（６．５名）

**◆相談支援事業**

利用者が、サービスの更新や新たなサービスを希望された時、アセスメント・モニタリングを行い、利用計画書等の作成を行った。

・計画書の作成数は延べ　　　　４８件（　５６件）

・モニタリング実施数は延べ　１１５件（１０８件）

（相談支援を受けている人数）

　　・シーモック利用者　４０名（４２名）

　　・法人外からの依頼　１１名（１２名）

**◆日中一時支援事業**

余暇活動の年間の平均実利用人数は、1日当たり　２６．６名（２８．５名）

土曜日を利用し余暇活動を年２４回実施した。季節を感じられる内容の活動を取り入れながら実施し、利用者の楽しみとして定着している。

（活動内容）季節の飾り作り、いちご狩り、デザート作り、室内レク等

**◆グループホーム事業**

年度当初は、ホームどんぐり３名、ホームたんぽぽ７名の計１０名の利用者

でスタートした。中核地域支援センターからの紹介で体験利用を経て３月に

１名が利用開始となった。ホームどんぐりは、ベランダ・バルコニーの老朽化に伴い7月～8月修繕を実施した。ホームたんぽぽの利用者の入退去は無かった。

**短期入所**

今年度は利用定員を2名から3名に増員しスタートした。男性3名が定期的な利用を行い、利用率は向上している。

（本年度の短期入所利用）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　名 | たんぽぽ | どんぐり |
| 20代男性 |  | ５６日 |
| 20代男性 |  | １９日 |
| 30代男性 |  | ２０日 |
| 30代男性 |  | 　２日 |
| 30代女性 | ２日 | 　 |

（入居者状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 日 | たんぽぽ | どんぐり | 合 計 |
|  4月 1 日 | 7名 | 3名 | 10名 |
| 3月 1 日 | 7名 | 4名 | 11名 |
| 3月31日現在 | 7名 | 4名 | 11名 |